



上野原市学校施設長寿命化計画
(概要版)

令和2年3月

上野原市教育委員会

1 学校施設の長寿命化計画の背景と目的

(1) 背景

- 本市の学校施設の大半が築 20 年以上経過し、校舎棟において築 45 年を経過した建物も含んでおり、老朽化が進行している状況にあります。
- 今後も少子化による学級数減少により、教育活動に支障を及ぼすことが懸念されます。厳しい財政状況が続くなかで、他の公共施設の維持管理も含め、本市全体の財政計画に基づき、適正な維持管理が課題です。

(2) 目的

- 「上野原市学校施設長寿命化計画」は、これまでの整備背景を踏まえ、長期的視点を持って持続可能な学校施設の運営・維持管理が行えるよう、長寿命化及び適正な更新、改修、改築等を検討し、教育機能の強化を図ると共に、コスト縮減と予算の平準化を図ることを目的とします。

(3) 計画期間

- 計画期間は令和 2（2020）年度から令和 41（2059）年度までの 40 年間とします。
- 本計画は 5 年ごとに見直しを行い、社会環境の変化や法制度の改正など、必要が生じた場合は随時見直しを行います。

(4) 対象施設

- 対象施設は、小学校 4 校、中学校 3 校、給食施設 2 施設、教員住宅 5 施設とします。

小学校		中学校		給食調理場		教員住宅	
1	上野原西小学校	1	上野原西中学校	1	上野原小学校給食棟	1	西原小中学校教員住宅
2	島田小学校	2	上野原中学校	2	四方津学校給食共同調理場	2	甲東小学校和見分校教員住宅
3	上野原小学校	3	秋山中学校			3	上野原教員住宅
4	秋山小学校					4	桐原教員住宅
						5	八ツ沢教員住宅

2 学校施設の目指すべき姿

- 本市では『上野原市教育大綱（平成 28 年 2 月）』、『上野原市教育振興基本計画(平成 29 年 3 月)』により、国の学習指導要領や第 3 期教育振興基本計画及び『山梨県教育振興基本計画（令和元（2019）年 6 月）』などを考慮し、基本理念として定めた「健やかに学び 輝く未来を拓く 心ふれあう上野原の人づくり」のもと学校教育を展開します。
- 学校施設は、地域や学校の実態、児童・生徒の発達の段階を踏まえ、教育の場に相応しい豊かな環境を形成することが求められます。「安全性」「快適性」「学習活動への適応性」「環境への適応性」「地域の拠点化」等の観点と併せ、将来的な人口減少や地理的条件等を考慮し、豊かな成長を支える教育環境の充実に努めます。
- 上野原市教育振興基本計画

〈基本理念〉 **健やかに学び 輝く未来を拓く 心ふれあう上野原の人づくり**

目標 1. 社会を生き抜く力を育む教育体制の充実

目標 2. 生涯学習と文化・スポーツ活動の振興

目標 3. 魅力ある学校づくりと家庭・地域と連携した教育

- 学校施設の目指すべき姿

1. 「安全性」

安全・安心の学校

- 災害対策を備えた学校
- 防犯・事故対策を備えた学校

2. 「快適性」

快適な生活・学習環境の学校

- 快適な学習環境を備えた学校
- 教職員に配慮した環境を備えた学校

3. 「学習活動への適応性」

学習活動の充実化に対応する学校

- 主体性を養う空間が充実した学校
- 適切な学習スペースを確保する学校
- ICT環境の充実した学校
- バリアフリーに配慮した学校
- 食育が充実した学校
- 学校図書館を多様に活用できる学校
- 特別支援教育が充実した学校
- バリアフリーに配慮した学校

4. 「環境への適応性」

環境配慮の学校

- 環境を考慮した学校（エコスクール）

5. 「地域の拠点化」

地域に開かれた環境の学校

- 地域と連携した学校

※「学校施設整備基本構想の在り方について」平成 25（2017）年 3 月 文部科学省を参考

3 学校施設の実態

(1) 人口推計

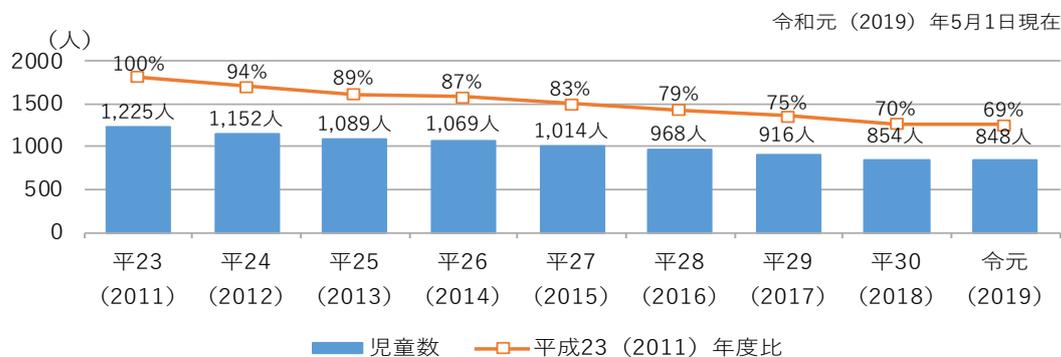
- 本市の人口推計については、「上野原市人口ビジョン(令和2年3月)」にて、令和42(2060)年度時点で総人口11,166人と、人口減少を最小限にとどめた将来の目標を描いています。
- 令和42(2060)年度には平成27(2015)年度と比べ総人口は45%の減少率となります。
- 年齢3区分別人口からみると、生産年齢人口が37%と減少率が最も多くなり、年少人口も同様に52%まで減少する見込みです。

	平成27年度 (2015)	令和2年度 (2020)	令和7年度 (2025)	令和12年度 (2030)	令和17年度 (2035)	令和22年度 (2040)	令和27年度 (2045)	令和32年度 (2050)	令和37年度 (2055)	令和42年度 (2060)
年少人口 (0-14歳)	2,331 100%	1,893 81%	1,613 69%	1,452 62%	1,379 59%	1,343 58%	1,320 57%	1,300 56%	1,263 54%	1,212 52%
生産年齢人口 (15-64歳)	14,625 100%	12,507 86%	10,778 74%	9,256 63%	8,096 55%	7,030 48%	6,432 44%	6,034 41%	5,698 39%	5,361 37%
老年人口 (65歳以上)	7,849 100%	8,347 106%	8,505 108%	8,499 108%	8,155 104%	7,772 99%	6,949 89%	6,060 77%	5,238 67%	4,593 59%
総人口	24,805 100%	22,747 92%	20,896 84%	19,207 77%	17,630 71%	16,145 65%	14,701 59%	13,394 54%	12,199 49%	11,166 45%

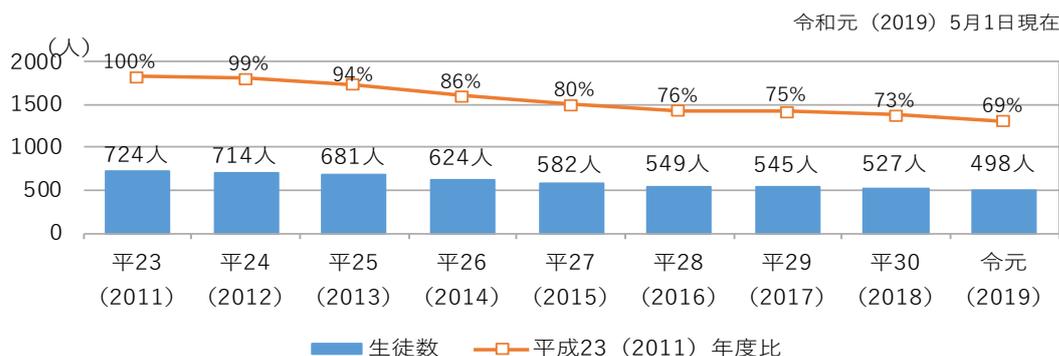
※ 表中のパーセントは平成27(2015)年度との対比を示します。

(2) 児童・生徒数の推移

- 小学校の全児童数は、平成23(2011)年度に1,225人でしたが、令和元(2019)年度には848人まで減少し、平成23(2011)年度に比べ31%減少しています。



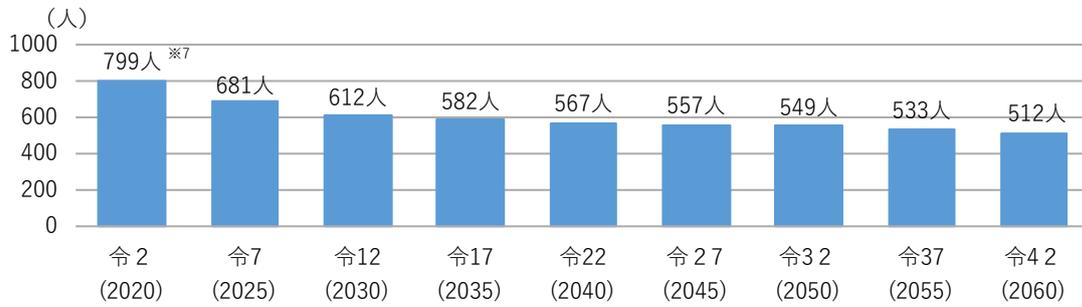
- 中学校の全生徒数は、平成23(2011)年度に724人でしたが、令和元(2019)年度には498人まで減少し、平成23(2011)年度に比べ31%減少しています。



(3) 児童・生徒数の将来推計

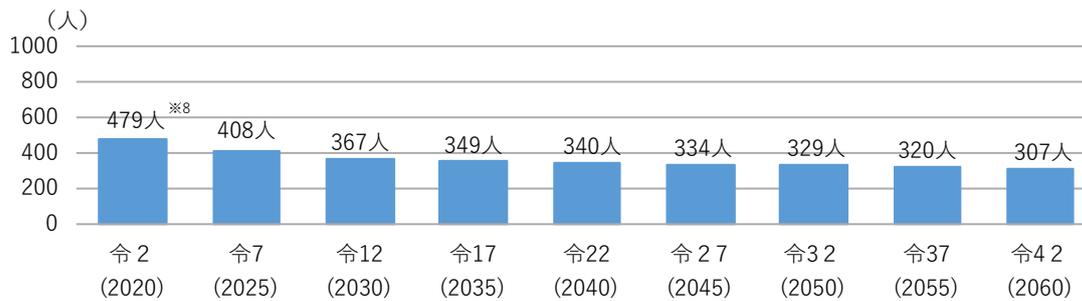
- 人口推計結果(年齢3区分別人口)から、年少人口(0-14歳)は令和2(2020)年度から令和42(2060)年度までに48%の減少が見込まれます。
- 年少人口(0-14歳)の変動に伴い、将来の児童・生徒数も同様に変動すると仮定し、児童・生徒数を推計します。

○ 児童数の将来推計



※7 令和2(2020)年度の児童数は市入学予定者数より推計した児童数としています。

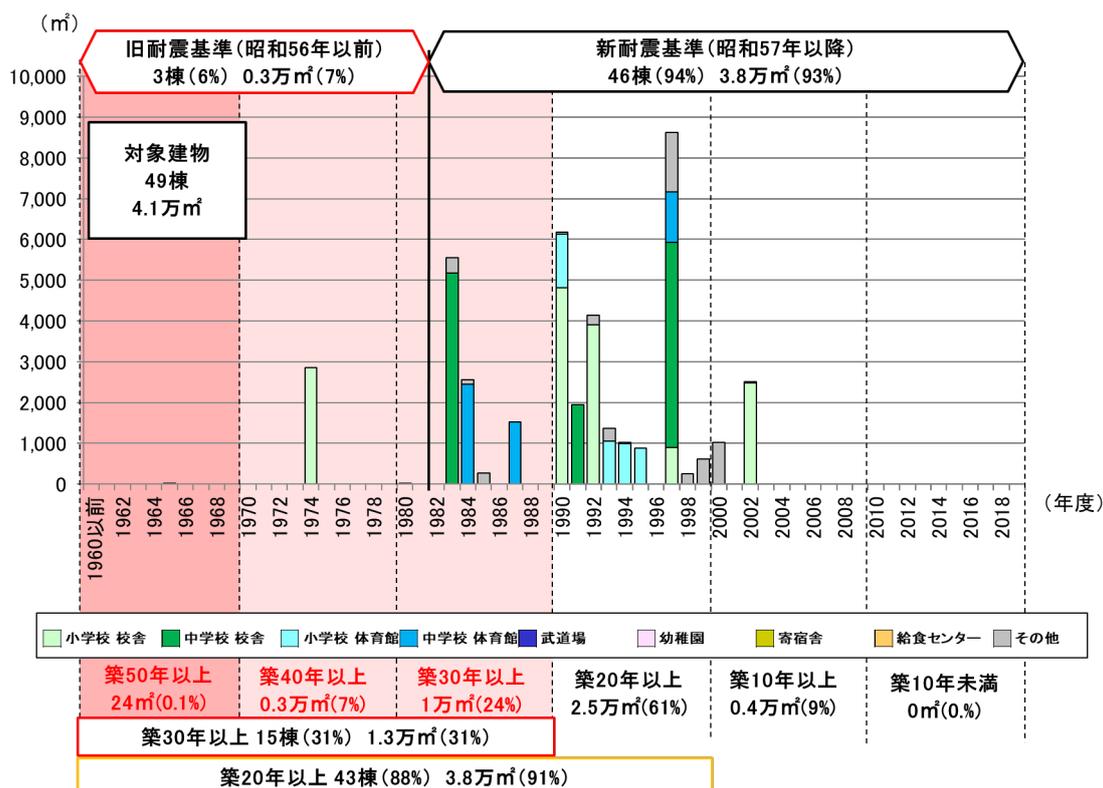
○ 生徒数の将来推計



※8 令和2(2020)年度の生徒数は市入学予定者数より推計した生徒数としています。

(4) 学校施設の保有量

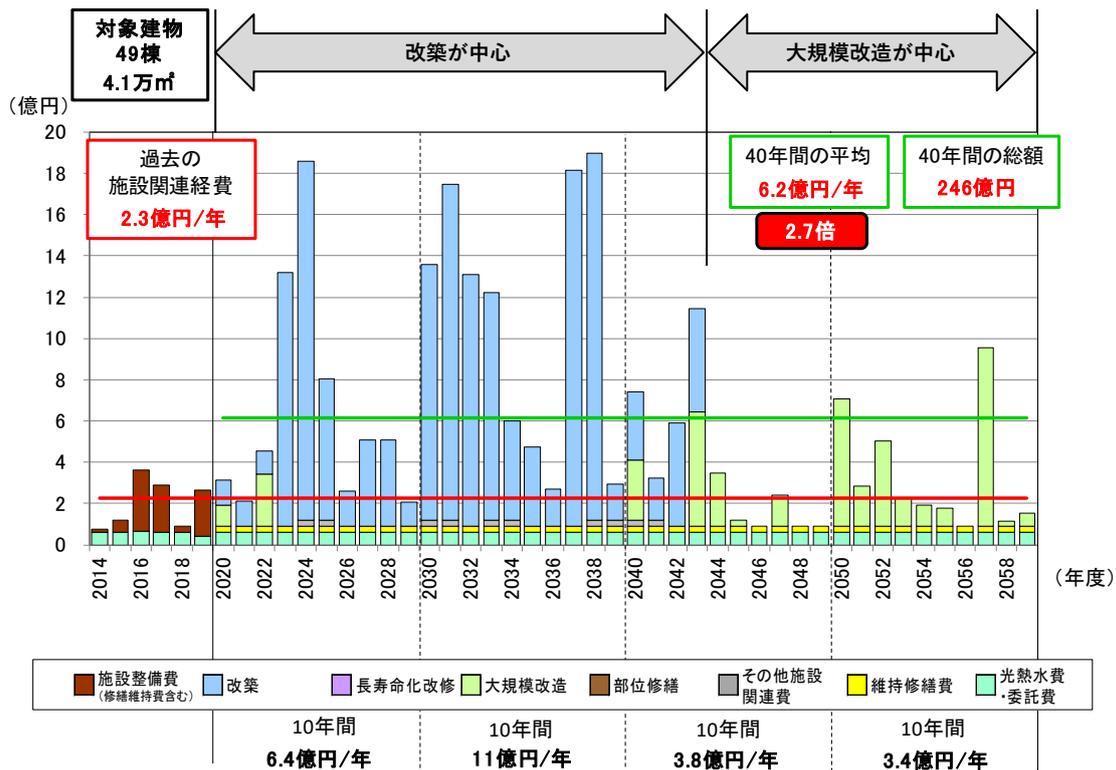
- 学校施設の延べ床面積(約 41,000 ㎡)を築年別に見ると、築 20～30 年が約 25,000 ㎡(61%)、築 30～40 年が約 10,000 ㎡(24%)、築 40～50 年が約 3,000 ㎡(7%)、築 50 年以上が 24 ㎡(0.1%)となります。
- 旧耐震基準の築 40～50 年の建物は上野原小学校普通教室棟 1、倉庫 1、倉庫 2 の 3 棟のみで、上野原小学校普通教室棟 1 は平成 22 (2010) に耐震補強工事が完了しています。その他の建物は全て新耐震基準の建物であり、築 20～30 年の建物が大半を占めています。
- 計画対象の築年別整備状況



(5) 今後の維持・更新コスト (従来型)

- 40 年間の改築・大規模改造等に掛かる更新費用は総額 246 億円で、40 年間の平均コストは 6.2 億円/年となり、過去 5 年間の平均施設関連経費 2.3 億円/年の 2.7 倍になります。
- 令和 2 (2020) 年度から令和 25 (2043) 年度の 23 年間は主に築 40 年経過した建物の改築に掛かる事業が中心となります。施設関連経費のピークが 3 回あり、主に校舎棟、屋内運動場の改築に掛かる経費が大きくなります。
- 令和 25 (2043) 年度から令和 41 (2059) 年度の 16 年間は主に改築後 20 年経過した建物の大規模改造に掛かる事業が中心となります。

○ 今後の維持・更新コスト（従来型）



(6) 構造躯体の健全性の状況

- 建物の築年度、耐震基準、耐震診断結果および耐震補強の有無を机上調査しまとめます。なお、鉄骨造の建物は構造部材の腐食状況を目視調査します。
- 鉄筋コンクリート造建物のコンクリート圧縮強度が 13.5N/mm^2 以下となる建物について、長寿命化改修とするか改築とするか、 13.5N/mm^2 を基準として構造躯体の健全性を評価します。
- 鉄骨造建物については、現地確認の結果から概ね築 40 年以上で腐食や劣化が著しいか否かを基準に評価します。

(7) 構造躯体以外の劣化状況

- 現地調査により劣化度を評価・判定し、長寿命化の実施計画に反映します。
- 劣化状況評価は部位ごとに行い、その評価は屋根・屋上と外壁は目視にて、内部仕上、電気設備、機械設備は経年数により A～D の 4 段階で評価します。

目視による評価		経年数による評価	
【屋根・屋上、外壁】		【内部仕上げ、電気設備、機械設備】	
評価	基準	評価	基準
良好	A 概ね良好	良好	A 20年未満
	B 部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)		B 20～40年
	C 広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)		C 40年以上
劣化	D 早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等	劣化	D 経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

○ 劣化評価の結果一覧

■ :築50年以上 ■ :築30年以上 基準 2019

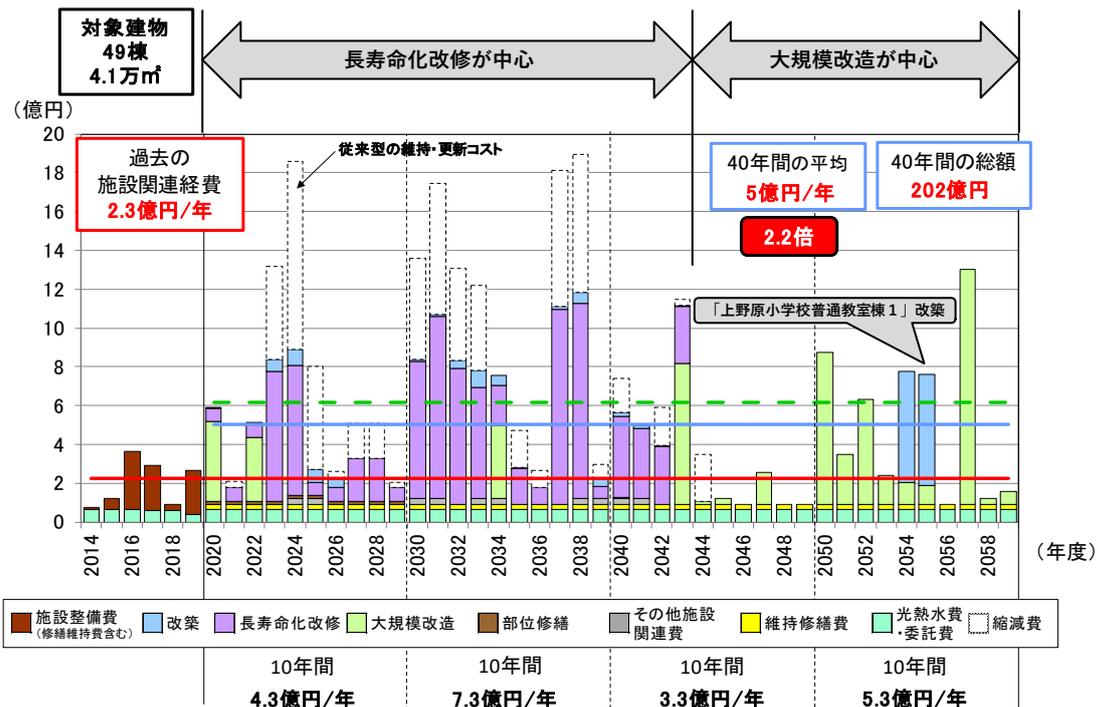
A :概ね良好 C :広範囲に劣化
B :部分的に劣化 D :早急に対応する必要がある

通し番号	建物基本情報						構造躯体の健全性					劣化状況評価					改修履歴 耐震:地震補強 大改:大規模改造	備考			
	施設名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備			機械設備	健全度 (100点満点)	
						西暦	和暦	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/㎡)									試算上の区分
1	上野原西小学校	校舎棟	RC	3	3,899	1992	H4	27	新	-	-		長寿命	C	C	B	B	B	62	2016年度 大改(空調)	
2	上野原西小学校	増築部校舎棟	RC	3	895	1997	H9	22	新	-	-		長寿命	A	C	B	B	B	67	2016年度 大改(空調)	
3	上野原西小学校	屋内運動場	S	2	1,056	1993	H5	26	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75		
4	上野原西小学校	プール付属棟	RC	1	146	1993	H5	26	新	-	-		改築	C	C	B	B	B	62		
5	上野原西小学校	倉庫1	S	1	16	1993	H5	26	新	-	-		改築	C	B	B	B	B	72		
6	上野原西小学校	倉庫2	S	1	16	1993	H5	26	新	-	-		改築	C	B	B	B	B	72		
7	島田小学校	校舎棟	RC	2	1,871	1990	H2	29	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	2016年度 大改(トイレ)	
8	島田小学校	屋内運動場	S	1	995	1994	H6	25	新	-	-		長寿命	C	B	B	B	B	72	2016年度 大改(トイレ)	
9	島田小学校	プール付属棟	S	1	66	2000	H12	19	新	-	-		改築	B	C	B	B	C	61		
10	島田小学校	倉庫1	S	1	33	1994	H6	25	新	-	-		改築	B	B	B	B	B	75		
11	島田小学校	倉庫2	S	1	19	1990	H2	29	新	-	-		改築	B	B	B	B	B	75		
12	上野原小学校	普通教室棟1	RC	4	2,861	1974	S49	45	旧	済	済	H20 21.9	長寿命	B	B	B	B	B	75	2009・2010年度 大改(老朽)・耐震、2016年度 大改(空調)	
13	上野原小学校	普通教室棟2	RC	4	2,942	1990	H2	29	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	2016年度 大改(空調)	2014年度 63㎡控除し 学童保育所に転用
14	上野原小学校	屋内運動場	S	2	1,311	1990	H2	29	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75		
15	上野原小学校	プール付属棟1	RC	1	19	1990	H2	29	新	-	-		改築	B	B	B	B	B	75		
16	上野原小学校	プール付属棟2	RC	1	18	1990	H2	29	新	-	-		改築	B	B	B	B	B	75		
17	上野原小学校	倉庫1	RC	1	24	1965	S40	54	旧	-	-		改築	C	C	C	-	-	40		
18	上野原小学校	倉庫2	S	1	20	1980	S55	39	旧	-	-		改築	A	A	A	-	-	100		
19	秋山小学校	校舎棟	RC	3	2,483	2002	H14	17	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75		
20	秋山小学校	体育館・プール付属棟	S	2	887	1995	H7	24	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75		
21	秋山小学校	体育倉庫	W	1	10	2002	H14	17	新	-	-		改築	B	B	B	-	-	75		
22	秋山小学校	兔・鳥小屋	S	1	10	2002	H14	17	新	-	-		改築	B	B	B	-	-	75		
23	上野原西中学校	普通教室棟	RC	3	2,720	1997	H9	22	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	2016年度 大改(トイレ) 2019年度 特例(冷房)	
24	上野原西中学校	特別教室棟	RC	3	2,313	1997	H9	22	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	2016年度 大改(トイレ) 2019年度 特例(冷房)	
25	上野原西中学校	屋内運動場	S	2	1,244	1997	H9	22	新	-	-		長寿命	A	B	B	B	B	77	2016年度 大改(トイレ)	
26	上野原西中学校	プール付属棟	RC	2	180	1998	H10	21	新	-	-		改築	A	B	B	B	B	77		
27	上野原西中学校	部室棟	RC	2	78	1998	H10	21	新	-	-		改築	B	B	B	B	B	75		プールサイド下階に 付属
28	上野原西中学校	茶室棟	W	1	39	1997	H9	22	新	-	-		改築	A	B	B	B	B	77		
29	上野原西中学校	器具庫	S	1	45	1997	H9	22	新	-	-		改築	B	B	B	B	B	75		
30	上野原中学校	普通教室棟	RC	3	2,188	1983	S58	36	新	-	-		長寿命	B	C	B	B	B	65	2019年度 特例(冷房)	
31	上野原中学校	管理・特別教室棟	RC	3	1,930	1983	S58	36	新	-	-		長寿命	A	B	B	B	B	77	2019年度 特例(冷房)	
32	上野原中学校	特別教室棟	RC	2	1,060	1983	S58	36	新	-	-		長寿命	A	B	B	B	B	77	2019年度 特例(冷房)	
33	上野原中学校	屋内運動場	S	2	2,442	1984	S59	35	新	-	-		長寿命	C	B	B	B	B	72		
34	上野原中学校	プール付属棟	S	1	91	1984	S59	35	新	-	-		改築	B	B	B	B	B	75		
35	上野原中学校	部室棟	S	1	95	1985	S60	34	新	-	-		改築	B	B	B	B	B	75		
36	上野原中学校	燃料庫	RC	1	11	1984	S59	35	新	-	-		改築	B	D	A	B	A	69		
37	上野原中学校	屋外トイレ	S	1	19	1984	S59	35	新	-	-		改築	C	B	B	B	B	72		
38	上野原中学校	倉庫	S	1	119	1985	S60	34	新	-	-		改築	B	B	B	A	-	79		
39	秋山中学校	校舎棟	RC	3	1,947	1991	H3	28	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	2019年度 特例(冷房)	
40	秋山中学校	屋内運動場	S	1	1,518	1987	S62	32	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75		
41	秋山中学校	プール付属棟1	S	1	45	1971	S46	48	旧	-	-			D	D	D	D	D	10		(試算対象外)
42	秋山中学校	プール付属棟2	S	1	9	1971	S46	48	旧	-	-			D	D	D	D	D	10		(試算対象外)
43	秋山中学校	体育倉庫	S	1	22	1992	H4	27	新	-	-		改築	C	C	B	-	-	58		
44	上野原小学校給食棟	給食棟	S	2	1,364	1997	H9	22	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75		ランチルーム含む
45	桐原小中学校共同調理場	共同調理場	S	1	123	1994	H6	25	新	-	-			C	C	C	B	B	49		(試算対象外)
46	桐原小中学校共同調理場	プロパンボンベ庫	S	1	10	1994	H6	25	新	-	-			C	C	C	-	C	40		旧桐原小校舎に付属 (試算対象外)
47	西原小中学校共同調理場	共同調理場	S	1	90	1984	S59	35	新	-	-			C	C	B	B	B	62		(試算対象外)
48	四方津学校給食共同調理場	共同調理場	S	1	935	2000	H12	19	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75		
49	四方津学校給食共同調理場	倉庫	S	1	24	2000	H12	19	新	-	-		改築	B	B	B	B	B	75		
50	秋山学校給食センター	給食センター	S	1	280	1999	H11	20	新	-	-			B	B	B	B	B	75		(試算対象外)
51	西原小中学校教員住宅	西原小中学校教員住宅	RC	3	375	1983	S58	36	新	-	-		改築	D	D	C	C	C	29		
52	甲東小学校和見分校教員住宅	甲東小学校和見分校教員住宅	W	1	57	1985	S60	34	新	-	-		改築	C	C	C	C	C	40		
53	上野原教員住宅	上野原教員住宅	W	2	220	1992	H4	27	新	-	-		改築	B	B	B	B	B	75		
54	桐原教員住宅	桐原教員住宅	W	2	128	1993	H5	26	新	-	-		改築	B	B	B	B	B	75		

通し番号	施設名	建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度		構造躯体の健全性			劣化状況評価					改修履歴 耐震:地震補強 大改:大規模改造	備考				
						西暦	和暦	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	長寿命化判定 試算上の区分	屋根・屋上	外壁			内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
						基準	2019														
55	八ツ沢教員住宅	八ツ沢教員住宅	RC	4	620	1999	H11	20	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75		
56	教職員住宅丹保向団地	教職員住宅丹保向団地1	W	1	34	1985	S60	34	新	-	-			D	D	D	D	D	10	R3年度取壊し予定 (試算対象外)	
57	教職員住宅丹保向団地	教職員住宅丹保向団地2	W	1	34	1985	S60	34	新	-	-			D	D	D	D	D	10	R3年度取壊し予定 (試算対象外)	
58	教職員住宅栗谷宮海戸団地	教職員住宅栗谷宮海戸団地1	W	1	34	1980	S55	39	旧	-	-			D	D	D	D	D	10	R1年度取壊し予定 (試算対象外)	
59	教職員住宅栗谷宮海戸団地	教職員住宅栗谷宮海戸団地2	W	1	34	1982	S57	37	新	-	-			D	D	D	D	D	10	R1年度取壊し予定 (試算対象外)	
60	教職員住宅栗谷宮海戸団地	教職員住宅栗谷宮海戸団地3	W	1	34	1982	S57	37	新	-	-			D	D	D	D	D	10	R1年度取壊し予定 (試算対象外)	
61	教職員住宅和田団地	教職員住宅和田団地1	W	1	34	1979	S54	40	旧	-	-			D	D	D	D	D	10	R2年度取壊し予定 (試算対象外)	
62	教職員住宅和田団地	教職員住宅和田団地2	W	1	34	1979	S54	40	旧	-	-			D	D	D	D	D	10	R2年度取壊し予定 (試算対象外)	
63	教職員住宅和田団地	教職員住宅和田団地3	W	1	34	1979	S54	40	旧	-	-			D	D	D	D	D	10	R2年度取壊し予定 (試算対象外)	
64	教職員住宅富岡下原団地	教職員住宅富岡下原団地	W	1	100	1990	H2	29	新	-	-			D	D	D	D	D	10	R4年度取壊し予定 (試算対象外)	

(8) 今後の維持・更新コスト (長寿命化型)

- 40年間の改築・大規模改造等に掛かる更新費用は総額 202 億円となり、従来の改築に比べ 44 億円のコスト縮減になります。
- 40年間の平均コストは 5 億円/年となり、過去 5 年間の平均施設関連経費 2.3 億円/年の約 2.2 倍になります。
- 令和 2 (2020) 年度から令和 25 (2043) 年度までの 23 年間は、築 40 年経過した建物の長寿命化改修に係る事業が集中します。
- 令和 25 (2043) 年度から令和 41 (2059) 年度までの 16 年間は、長寿命化改修後 20 年経過した建物の大規模改造に係る事業が集中します。
- 令和 36 (2054) 年度から令和 37 (2055) 年度の 2 年間は、築 80 年経過した「上野原小学校普通教室棟 1」の改築に関わる事業があります。



4 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

- 学校施設において必要な「法定点検」と「自主点検」の実施により、予防保全と計画的な修繕・改修を図り、施設の長寿命化を推進します。

(2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

- 本市の小中学校の児童・生徒数は今後減少するものと推計されていますが、こしばらくの間は大幅な児童・生徒数の減少が見込まれないため、現状規模を維持します。
- 将来的な学校施設の規模や配置については、児童・生徒数の減少が進むことで学校間の教育条件等の不均衡が生じないように、社会経済情勢の変化も踏まえて適時適切な見直しを行う必要があります。

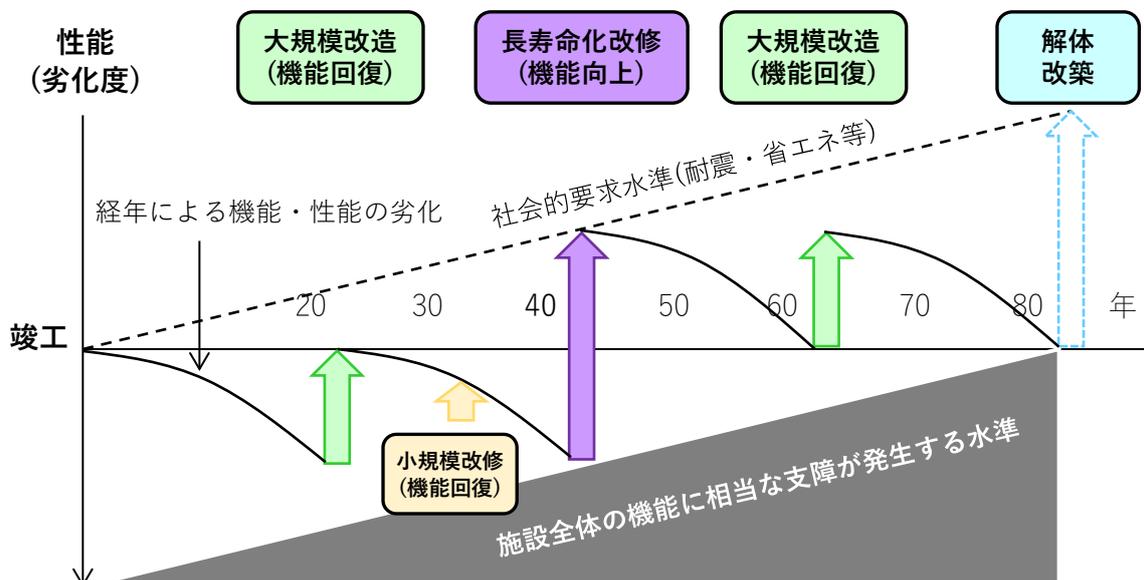
(3) 長寿命化の方針

- 既存施設の劣化状況調査により、鉄筋コンクリート造建物及び鉄骨造建物とも健全であり、総合的に判断して中長期的な維持管理に係るコストの縮減と予算の平準化を実現できることから、長寿命化改修を図るものとします。

(4) 目標使用年数、改修周期の設定

- 目標使用年数は鉄筋コンクリート造の校舎のうち、構造躯体の健全性調査を実施した建物については、その調査結果も参考に設定します。
- 鉄骨造の体育館等の建物については、柱脚や仕口等の状況を把握し、長寿命化の可能性を確認する必要がありますが、現時点では鉄筋コンクリート造と同様に 80 年の長寿命化が可能と想定します。

構造種別	目標使用年数	長寿命化改修の周期	大規模改造の周期
鉄筋コンクリート造	80 年	築 40 年	築 20 年/60 年
鉄骨造			



5 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

(1) 改修等の整備水準

- 「2 学校施設の目指すべき姿」において示した指針等を取り入れ、現在だけではなく、将来的な学校施設の安全性や快適性、耐久性等を見通した施設整備を進めていきます。
- 建築物は完成した時点から時間の経過と共に劣化が進行します。劣化の進行は建築物の部位により差があり、構造に重大な影響を与える場合もあるため、優先的に予防保全を実施すべき部位、あるいは、事後保全でも支障がない部位等、部位ごとの重要度を順位付けして取り組みます。

(2) 維持管理の項目・手法等

<法定点検>

- 法定点検については建築士、その他有資格者等が、定められた時期に規定項目に従い点検を実施し、県知事等へ報告します。

<自主点検>

- 自主点検については学校教職員が、不具合箇所報告&対応記録シート、点検のポイント（資料編参照）を用いて実施し、教育委員会に報告します。

(3) 点検結果の活用

- 教育委員会は、法定点検及び自主点検の結果報告をもとに現地の状況を確認し、学校ごとに「学校施設カルテ」に取りまとめ、保有施設の基礎情報や劣化度の評価、工事履歴等の記録を蓄積します。
- 点検結果のなかで予防保全が必要となる部位・部材については、各種点検結果に基づきその対策を実施し、学校施設の効率的な維持管理に繋がります。

6 長寿命化の実施計画

(1) 改修等の優先順位付け

- 原則として、築年数が経過している施設から長寿命化改修を実施します。
- 築 20 年以上で大規模改造がされていない施設は、他の施設との調整を図ったうえで、早期に長寿命化改修を含めた大規模改造を実施します。
- 劣化状況評価による健全度が低いものから長寿命化改修を実施します。
- 建物規模、工事規模に応じて、更新費用を各年度に極力均等となるように振り分けます。

(2) 直近 5 年の実施計画

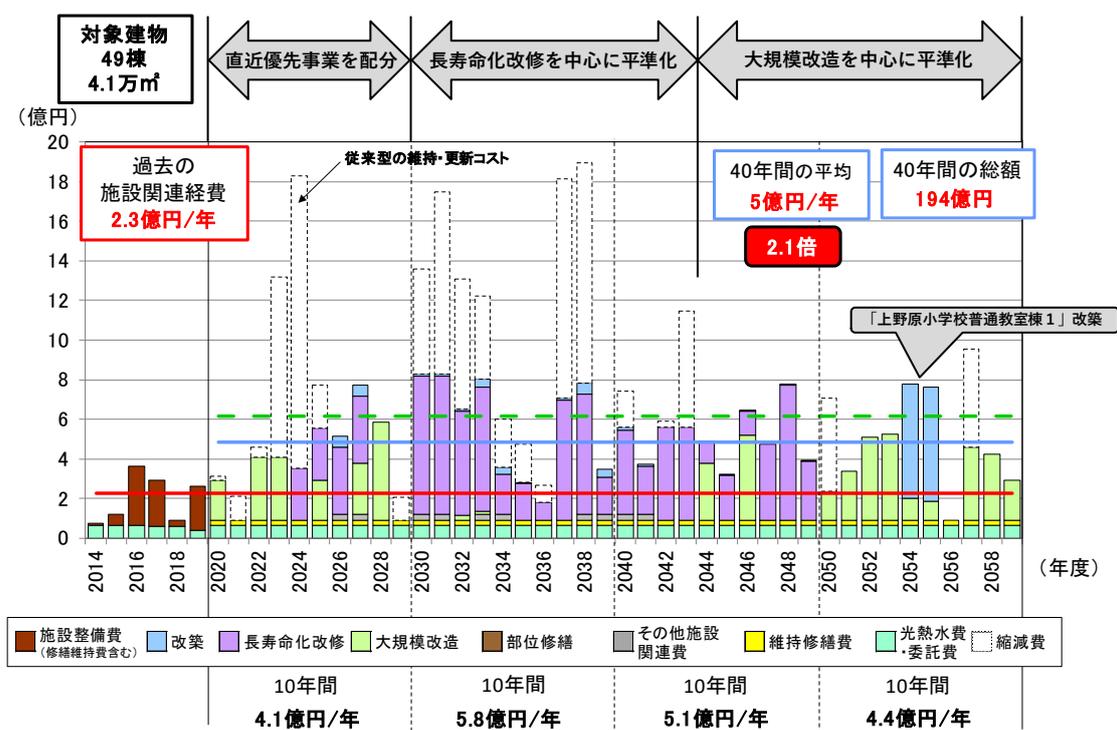
- 今後 5 年間の整備計画は、令和 2 (2020) 年度に上野原中学校屋内運動場の大規模改造のほか、築 27 年が経過し現在まで未改修である上野原西小学校校舎棟大規模改造など、経過年数・改修履歴及び劣化調査結果を踏まえ、優先順位付けした事業を実施していきます。

(千円)

事業名称	年度	令和2 2020		令和3 2021		令和4 2022		令和5 2023		令和6 2024	
		学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
		改築事業									
施設整備費	長寿命化改修									上野原中 普通教室棟	262,560
	大規模改造(老朽)	上野原中 屋内運動場	202,411			上野原西小 校舎棟 増築校舎棟	316,404	上野原西小 校舎棟 増築校舎棟	316,404		
	部位修繕										
	その他施設整備費										
維持修繕費		28,000		28,000		28,000		28,000		28,000	
光熱水費・委託費		63,000		63,000		63,000		63,000		63,000	
合計		293,411		91,000		407,404		407,404		353,560	

(3) 今後の維持・更新コスト（長寿命化の平準化型）

- 40年間の計画は、改修時期を調整することで支出のピークシフトを行い、長寿命化による維持・更新コストを出来る限り平準化します。
- 今後5年間の計画の中で、令和4（2022）年度には、築20年以上経過し大規模改造を行っていない上野原西小学校校舎棟の大規模改造、令和5（2023）年度から令和8（2026）年度には築40年経過する上野原中学校校舎棟の長寿命化改修を計画します。
- 市内の給食センターは、将来的に児童・生徒数の減少を見据えた施設の再整備などを検討する必要があります。
- 令和12（2030）年度から令和31（2049）年度に長寿命化改修中心の整備とし、令和32（2050）年度以降は長寿命化改修後20年経過した建物の大規模改造中心の整備を検討します。
- 平準化する前の計画と比べ、長寿命化改修及び大規模改造の整備時期を細かく割り当てることにより、維持・更新コストは毎年ほぼ平均的となり、40年間で総額194億円となります。



○ 計画期間内の実施方針

学校名	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033	R16 2034	R17 2035	R18 2036	R19 2037	R20 2038	R21 2039	R22 2040	R23 2041	R24 2042	R25 2043	R26 2044	R27 2045	R28 2046	R29 2047	R30 2048	R31 2049	R32 2050	R33 2051	R34 2052	R35 2053	R36 2054	R37 2055	R38 2056	R39 2057	R40 2058	R41 2059													
上野原西小学校		校舎																																																			
鳥田小学校																																																					
上野原小学校																																																					
秋山小学校																																																					
上野原西中学校																																																					
上野原中学校																																																					
秋山中学校																																																					
上野原小学校給食棟																																																					
四方津学校 給食共同調理場																																																					
西原小学校教員住宅																																																					
甲東小学校 和見分校教員住宅																																																					
上野原教員住宅																																																					
柵原教員住宅																																																					
八ツ沢教員住宅																																																					

改築
長寿命化改修
大規模改造

7 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

- 長寿命化計画の見直し・更新を行うには、「学校施設の実態」で把握した児童・生徒数、点検・診断結果や過去の修繕・改修履歴等、施設の状態を学校カルテに蓄積し、施設整備費の把握、修繕・改修メニューとその実施時期の検討や使用状況の比較などに活用します。

(2) 推進体制等の整備

- 学校施設長寿命化計画を継続的に運用するには、施設設置者(市職員)と施設管理者(学校教職員)の連携が重要になります。点検・診断や計画の見直しにおいて専門的知識が必要な場合、技術的知見を有する職員が必要となりますが、職員を十分確保できない場合は専門業者へ委託し、体制の充実を図ります。

(3) フォローアップ

- 長寿命化計画は、5年ごとに見直しを実施します。その際は、計画の進捗状況や目標達成状況を把握するとともに、日常点検や法定点検の結果から施設の老朽化に関する状況・評価を行います。
- 学校は市民生活に深く関係するため、これらの情報を市民と共有できるよう、市のホームページや広報等を通じて情報発信するとともに、市民からの意見を参考に計画を推進します。

上野原市学校施設長寿命化計画（概要版）

令和2年3月

発行・編集：上野原市教育委員会

住所：〒409-0192

山梨県上野原市上野原3832

電話：0554-62-3111(代表) / FAX：0554-62-5333